令和7年度
湖南市地域包括支援センター
事業報告について

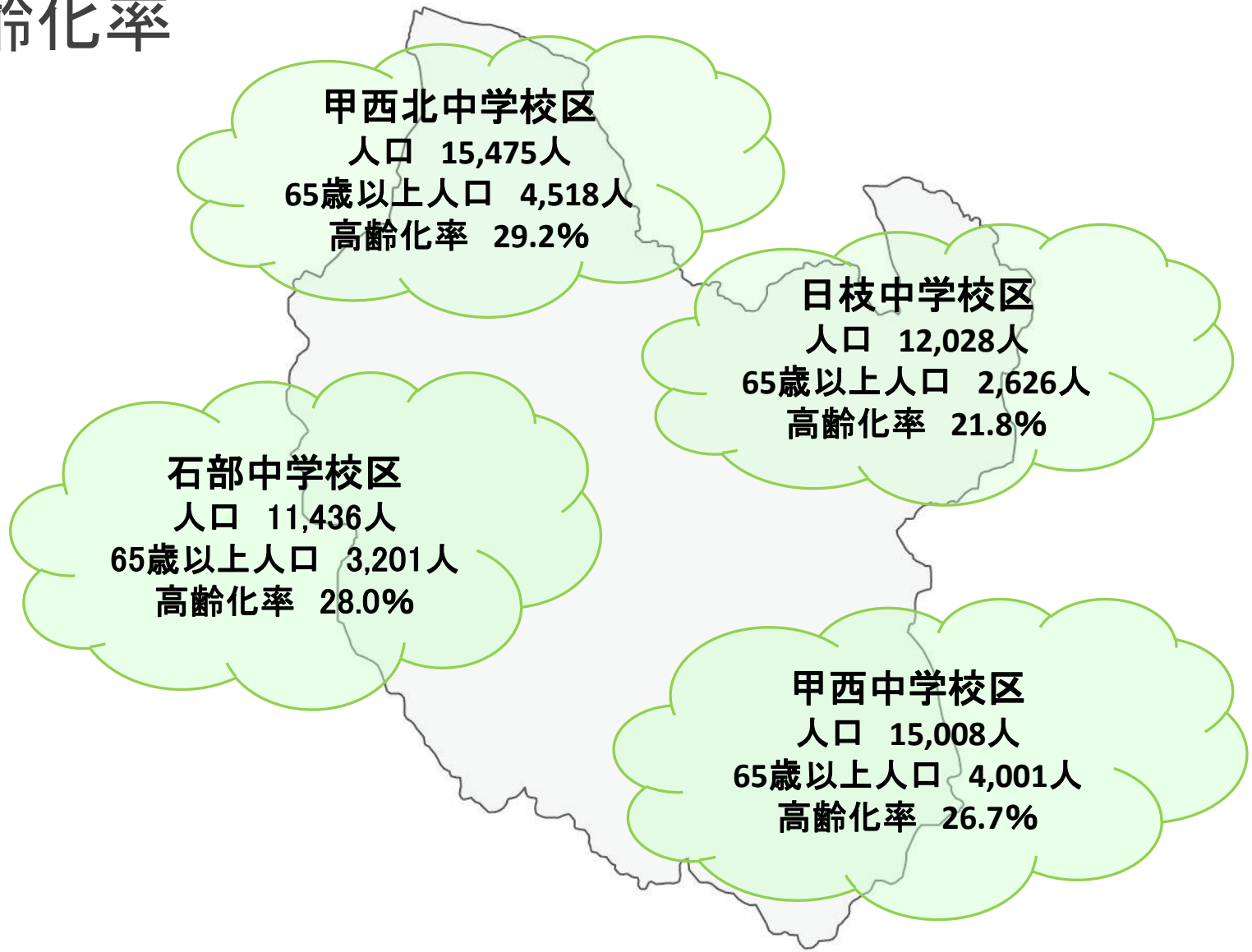
湖南市健康福祉部地域包括ケア推進局
高齢福祉課地域包括支援係

湖南市の人口および高齢化率

令和8年4月1日現在	人数・率
総人口	53,947人
65歳以上人口	14,346人
高齢化率	26.6%
高齢化率（滋賀県）	27.4%
高齢化率（全国）※	29.5%（概算）
世帯数	25,724世帯

※総務省統計局「人口推計」より

2040年（令和22年）推計	人数・率
総人口	48,254人
65歳以上人口	16,180人
高齢化率	33.5%



地域包括支援センター職員体制

令和8年4月1日現在

甲西包括（委託）

担当地域：三雲、妙感寺、吉永、夏見、針、
ルモン甲西、中央、平松、柑子袋
開設場所：三雲コミュニティセンター内

センター長　1名
主任介護支援専門員　1名
看護師　1名
社会福祉士　1名（センター長兼務）
介護支援専門員　プランナー　１名

石部包括（直営）

担当地域：石部東、石部西、岡出、宮森、宝来坂
石部南、東寺、西寺、丸山
開設場所：石部診療所内

センター長　1名
介護支援専門員　1名
保健師　1名（センター長兼務）
社会福祉士　1名
プランナー　1名

甲西北包括（委託）

担当地域：朝国、岩根東口、岩根東、岩根西
岩根花園、正福寺、北山台、菩提寺
みどりの村、三上台、イワタニランド
近江台、ハイウェイサイドタウン
開設場所：生田病院内

センター長　1名
主任介護支援専門員　1名（センター長兼務）
看護師・保健師　2名
社会福祉士　1名

日枝包括（委託）

担当地域：下田東、下田西、下田南、下田北
中山、緑が丘、大谷、桐松、堂の城
団地北、団地中、団地南
開設場所：市民学習交流センター
（サンヒルズ甲西）内

センター長　1名
主任介護支援専門員　1名（センター長兼務）
看護師　1名
社会福祉士　1名
プランナー　1名

高齢福祉課

課長
（高齢介護係）
課長補佐2名
保健師1名
事務職員2名
会計年度任用職員4名
認定調査員6名
（地域包括支援係）
課長補佐1名
主幹（社会福祉士）1名
保健師2名
事務職員2名

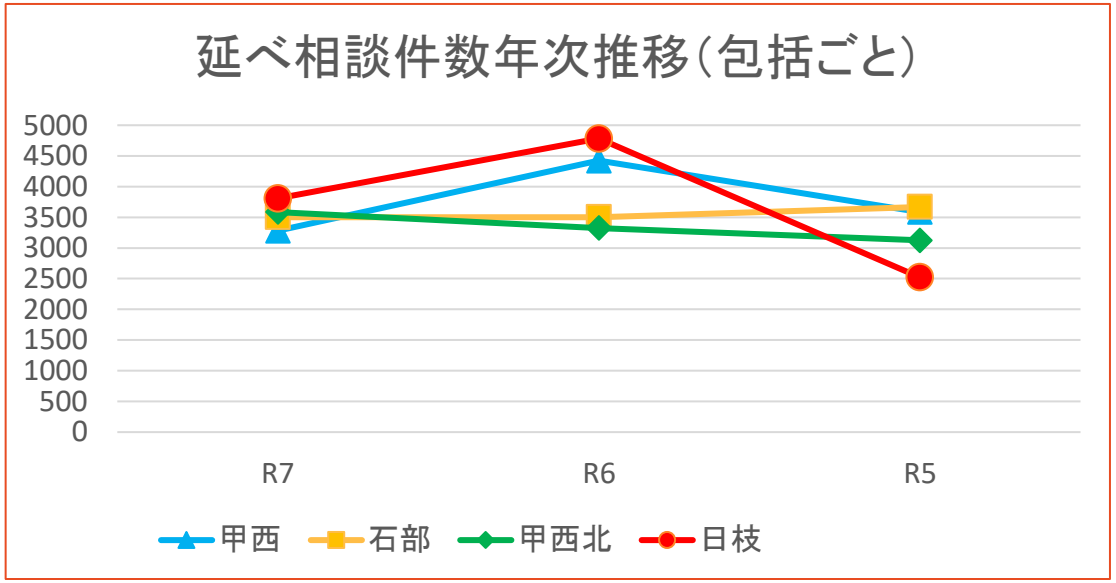
- 地域包括支援センター運営支援
- 権利擁護支援・虐待対応
- 介護予防事業
- 在宅医療・介護に関すること
- 認知症に関すること
- 重層支援体制整備事業
- 生活支援体制整備

1．地域包括支援センター相談実績①

【延べ相談件数】

（件）

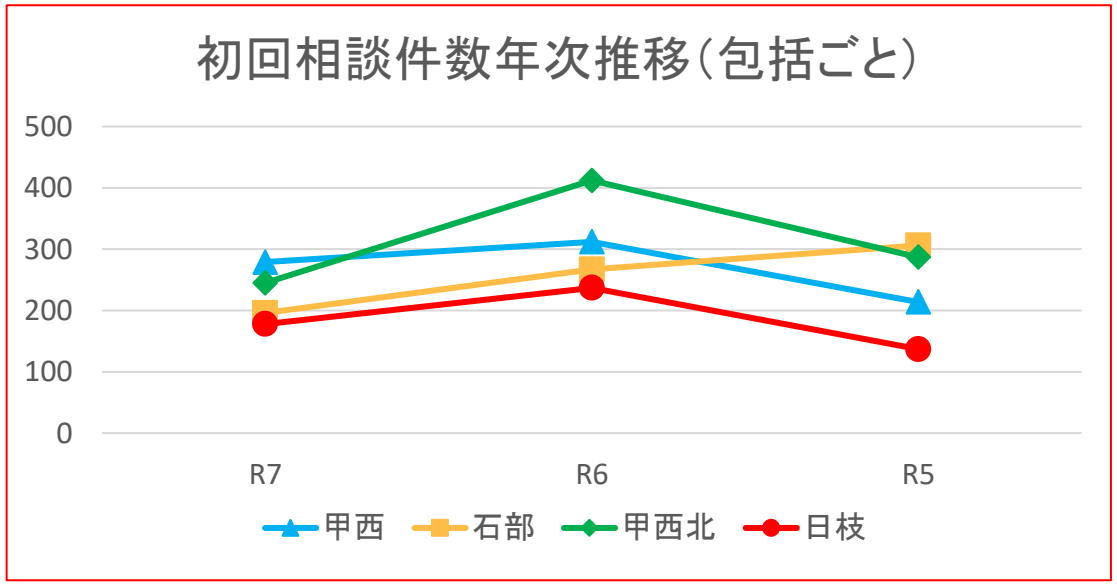
	令和7年度	令和6年度	令和5年度
甲西	3,281	4,423	3,503
石部	3,503	3,502	3,669
甲西北	3,585	3,325	3,124
日枝	3,809	4,784	2,522
市全体（合計）	14,178	16,034	12,818



【初回相談件数】

（件）

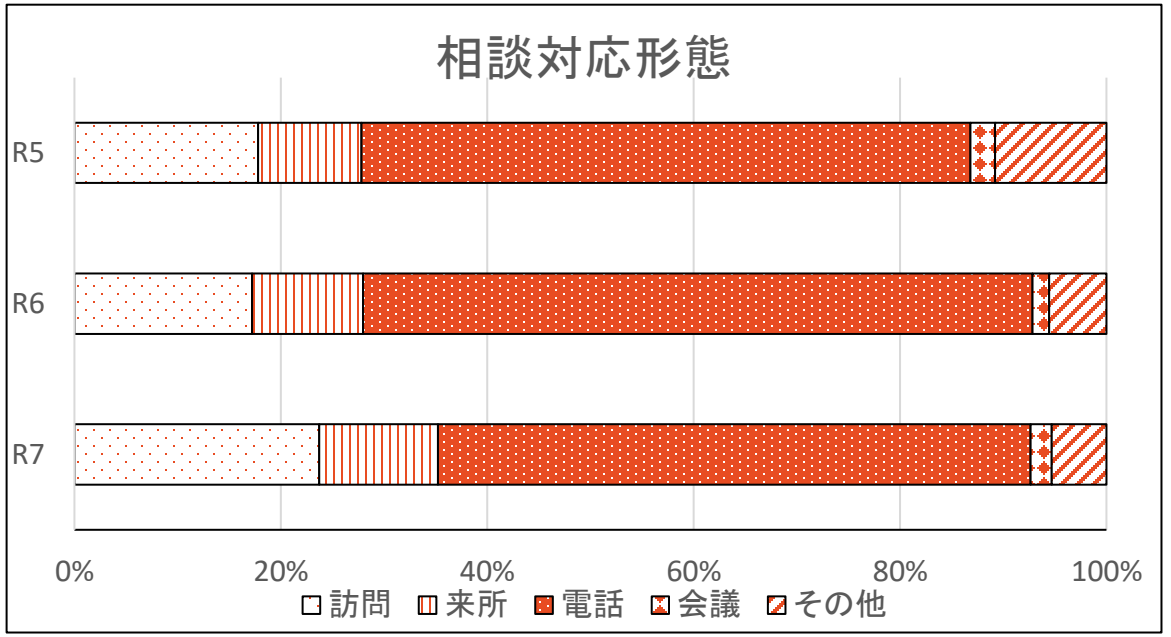
	令和7年度	令和6年度	令和5年度
甲西	279	312	214
石部	196	267	306
甲西北	245	412	287
日枝	178	237	137
市全体（合計）	898	1,228	944



1．地域包括支援センター相談実績②

【相談対応形態（市全体）】　（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
訪問	3,361	2,760	2,282
来所	1,631	1,722	1,283
電話	8,141	10,404	7,561
会議	294	257	309
その他	751	891	1,383



【相談経路（市全体）】　（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
本人	4,546	4,225	2,216
家族	2,831	3,243	2,279
高齢福祉課	711	821	1,011
他の包括	25	22	24
民生委員	181	301	317
医療機関	1,231	1,399	1,021
ケアマネージャー	2,010	2,320	3,112
警察	87	80	55
サービス事業所	2	147	708
福祉機関	842	1,230	1,103
その他	495	858	412

（相談対応形態）

令和7年度は、来所の難しい高齢者なども多く、包括職員による訪問件数が増加した。

（相談経路）

本人や家族からの相談が最も多く、次いでケアマネージャーからの相談が多い。➡包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

1．地域包括支援センター相談実績③

【相談対応形態（包括ごと）】

（件）

	令和7年度				令和6年度				令和5年度			
	甲西	石部	甲西北	日枝	甲西	石部	甲西北	日枝	甲西	石部	甲西北	日枝
訪問	918	736	900	807	847	717	535	661	679	722	323	558
来所	299	463	496	373	327	375	648	372	378	247	551	107
電話	1,815	1,973	2,018	2,335	2,905	2,138	1,943	3,418	1,969	2,330	1,809	1,453
会議	87	66	105	36	101	45	81	30	106	43	73	87
その他	162	265	66	258	243	227	118	303	371	327	368	317

（相談対応形態）
例年、電話での相談が最も多く、
各包括ともに、令和7年度は、訪問件数が増加しました。

＊参考

相談形態	内容
訪問	各地域包括支援センター職員が相談者宅や施設を訪問
来所	各地域包括支援センターへ相談者が来所
電話	電話での相談
会議	個別ケース会議など
その他	上記以外（文書でのやりとりなど）

1．地域包括支援センター相談実績④

【相談内容（市全体）】

（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
総合相談	3,337	4,693	4,483
虐待防止	606	702	658
同行訪問	119	117	104
認知症	810	697	592
介護保険制度	4,219	4,939	2,437
権利擁護・成年後見	390	305	377
制度説明	50	52	33
包括的継続的ケアマネジメント	678	736	1,524
総合事業・モニタリング	1,453	780	775
個人の悩み相談	196	200	218
地域ケア会議	49	97	85
サービス担当者会議	198	153	34
社会資源の紹介	107	115	147
医療連携	1,003	990	602
その他	963	1,458	749
合計	14,178	16,034	12,818

住宅改修や補助具購入などの相談を含む「介護保険制度」に関することが最も多かった。次いで、家庭環境や経済状態、一般的な医療に関することなど「総合相談」が多く、介護予防事業に関する聞き取りでの面談や訪問、その調整など「総合事業・モニタリング」も令和7年度は前年度より1.8倍増加した。また、必要に応じて、地域包括支援センター職員が、医療機関と連携も行っています。

相談内容	
総合相談	家庭環境や経済状態、一般的な医療に関することなど
虐待防止	虐待に関すること
同行訪問	施設・医療機関・訪問看護等への同行・日程調整等
認知症	認知症に関すること
介護保険制度	介護保険制度に関すること（住宅改修・補助具購入等含む）
権利擁護・成年後見	権利擁護や成年後見制度に関すること
制度説明	各種制度（申請手続きなど）に関すること
包括的継続的ケアマネジメント	ケアマネージャーとの面談、相談、協議、情報共有など（会議除く）
総合事業・モニタリング	介護予防事業に関すること、面談訪問やその調整など
個人の悩み相談	個人的な悩み相談に関すること
地域ケア会議	地域ケア会議や個別のケース会議等への出席（日程調整等含む）
サービス担当者会議	サービス担当者会議への出席（日程調整等含む）
社会資源の紹介	各種サービス（緊急通報システム等）に対する紹介や取り次ぎなど
医療連携	医療機関との連携（医療情報の共有）、退院時カンファレンスなど
その他	他に分類できないもの

2. 権利擁護業務

【権利擁護・成年後見に関する相談（包括ごと）】（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
甲西	140	115	137
石部	121	71	81
甲西北	63	24	100
日枝	66	95	59
市全体（合計）	390	305	377

【虐待通報・認定件数（包括ごと）】　（件）

	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	通報	認定	通報	認定	通報	認定
甲西	8	6	10	5	3	2
石部	8	5	5	2	5	4
甲西北	10	4	8	3	10	5
日枝	7	3	10	1	7	3
市全体（合計）	33	18	34	11	25	14

高齢者虐待に関する通報が地域包括支援センターや高齢福祉課に入ると、高齢福祉課と地域包括支援センターとで協議を行い、地域包括支援センターが事実確認を行います。

虐待対応帳票を地域包括支援センターが作成し、高齢福祉課と今後について協議の上、コア会議を開催します。

３．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

【令和7年度湖南市居宅介護支援事業者連絡調整会議の開催】

会場：湖南市保健センター

日時	全体会議内容	全体会議参加者	リーダー会議	ひよこクラブ
4月16日（水）9:30～	地域包括支援センターの紹介 市からの連絡事項・情報提供	33名	10:30～開催	10:30～開催
5月14日（水）			9:30～開催	
6月11日（水）			9:30～開催	10:30～開催
7月11日（金）14:00～	ピカジップ方式事例検討 講師：龍谷大学　山口教授	30名		
9月17日（水）9:30～	高齢者虐待対応について：高齢福祉課 ゲートキーパー研修：健康政策課	22名		
10月15日（水）9:30～	権利擁護の実務事例から 講師：ぱんじー　桐高所長	22名	11:00～開催	
11月14日（金）9:30～	ケアマネってどこまでするの？ Q&A　事例検討	30名	10:30～開催	10:30～開催
12月17日（水）9:30～	終末期ケアマネジメント事例から （主任介護支援専門員より事例提供）	17名		
1月13日（火）			9:30～開催	9:30～開催
2月13日（金）9:30～	事例検討会 （中学校区ごとに同じ事例で検討）	15名		

目的：介護支援専門員の育成と
学び直し
介護支援専門員同士の
ネットワーク構築
市・地域包括支援センター
と居宅介護支援事業所の
連携

リーダー会議は、各居宅介護支援事業所と各包括の管理者と高齢福祉課で構成され、全体会議の内容検討や、各居宅介護支援事業所からのニーズ把握を行います。

ひよこクラブは、経験の浅い介護支援専門員同士の情報交換や育成の場として管理者が企画運営。令和8年度からは、「まなびの会」へ名称を変更し、介護支援専門員の育成強化のため、管理者で企画運営。

４．介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

総合事業対象者および要支援1・2と判定された人のケアマネジメントを行い、介護予防事業等の利用につなげ、介護予防の推進に取り組みました。

【令和7年度地域包括支援センター給付管理件数】

	甲西	石部	甲西北	日枝	合計
包括直営分	592件	203件	482件	296件	1573件

要介護認定で要支援1・2と判定された人は、年々増加傾向にあり、地域包括支援センターにて介護予防ケアプランを作成する件数も増加しています。給付管理業務については、一部の居宅介護支援事業所が介護予防支援の指定を受け担っているため、各包括から居宅介護支援事業所へ委託している件数も直営分より多くあります。

5. 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、人生の最期まで住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、市民への在宅医療・介護に関する意識の醸成や医療機関と介護事業所等の連携強化に取り組みました。

【相談経路：医療機関からの相談件数】　（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
甲西	289	391	288
石部	278	294	289
甲西北	311	299	240
日枝	351	410	204
市全体（合計）	1,231	1,399	1,021

【相談内容：医療連携件数】　（件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
甲西	215	173	208
石部	179	298	117
甲西北	346	267	229
日枝	263	252	48
市全体（合計）	1,003	990	602

医療機関が開催する
カンファレンス等の個別
ケース会議へも参加しています。

６．認知症総合支援事業①

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができることを目的として、医療・介護および生活支援のサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人やその家族に対して効果的な支援が行われるよう体制整備を行いました。
各地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症ケアの向上を図るための取組みを行いました。

【認知症サポーター養成講座】

日　時	場所	対象者	参加者数
令和7年9月14日	サンライフ甲西	市内郵便局職員	18人
令和7年10月31日	石部高校	高校生	8人
令和7年11月14日	ティーガイア	企業　従業員	7人
令和8年1月15日	石部高校	高校生	10人

認知症サポーター養成講座を受講した企業にはステッカーを渡し、貼ってもらっています。
また、湖南市ホームページに「認知症の人にやさしいお店」として掲載しています。



高齢福祉課認知症施策担当者とキャラバン・メイトが講師となり、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族の立場に立った対応を考えるきっかけとなるようグループワークを交えながら、講座を開催しました。

6. 認知症総合支援事業②

【認知症地域支援推進員（あんしん相談員）情報交換会】

開催頻度：2か月に1回開催

メンバー：
地域包括支援センターの認知症地域支援推進員、
認知症あんしん相談員、高齢福祉課

情報交換会の内容：
・カフェの実施状況など活動報告
・相談内容の共有
・本人ミーティングの開催に向けて

市内認知症対応型デイサービスに「湖南市認知症あんしん相談員」を配置し、相談窓口を設置、認知症カフェの定期開催や勉強会の開催などの業務を行っています。



令和7年度に「湖南市認知症ガイドブック（第5版）」を作成し、高齢福祉課・地域包括支援センターに設置、関係機関へ配布

7. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

後期高齢者のフレイルや生活習慣病の重症化予防、介護予防を図る事業として、「健康状態不明者把握事業」を健康政策課で取組ましたが、その中で、80歳以上の対象者への訪問支援を地域包括支援センターが行いました。

【健康状態不明者把握事業】

目的:

健康診査・医療機関受診・介護認定の公的な医療・介護制度の利用がなく、データ上健康状態が分からない人に対し、アウトリーチによる支援にて実態を把握し、必要に応じて、健康診査の受診勧奨および健康相談、総合相談窓口の紹介、介護サービス等との接続支援を行うことで、フレイルや生活習慣病の重症化予防、介護予防を図る。

		甲西	石部	甲西北	日枝
対象者		7人	7人	7人	5人
訪問結果	本人と出会えた	1人	5人	6人	4人
	家族のみ出会えた	2人			
	不在(アンケート返送あり)	1人	1人		
	不在(アンケート返送なし)	3人	1人(拒否)	1人	1人

8. 一般介護予防事業①

地域包括支援センター職員が様々な場へ出向き、高齢者が元気でいきいきと生活し、要介護状態にならないようにするための教室（介護予防教室）などを実施しました。

【出前講座（石部地域包括支援センター実施分）】

	日時	場所	講義内容	参加者数
大亀町老人クラブ	令和7年10月21日	大亀町会議所	認知症について	8人
石部まちづくり協議会	令和7年　7月18日	石部文化ホールロビー	認知症と予防について	25人
岡出老人会	令和7年11月13日	岡出集会所	感染症と地域包括支援センターについて	8人
東寺カフェ	令和8年　1月26日	東寺多目的集会所	介護保険について	8人

【出前講座（甲西地域包括支援センター実施分）】

	日時	場所	講義内容	参加者数
カフェふわり	令和7年　5月14日	三雲 コミュニティセンター	地域包括支援センターの案内	15人程度
	令和7年　6月11日		認知症の気づきチェック	15人程度
	令和7年　7月　9日		熱中症予防	15人程度
	令和7年　9月10日		健康相談、体組成計	15人程度
	令和7年10月　8日		フレイル予防啓発	15人程度
	令和7年11月12日		ヒートショック予防	15人程度
	令和8年　2月12日		健康相談、体組成計	15人程度
平松カフェ	令和7年10月　5日	平松草の根ハウス	健康相談、体組成計	20人程度
	令和8年　2月28日			17人
よろず会	令和7年12月　9日	柑子袋 まちづくりセンター	地域包括支援センターの案内	15人程度
	令和8年　2月　4日			20人程度
延寿クラブ	令和8年　2月27日	三雲児童館	健康いきいき体操	15人程度
中央区カフェ	令和7年12月13日	中央東自治会館	アハ体験、健康いきいき体操	15人程度
柑子袋敬老会	令和7年　9月14日	柑子袋まちづくりセンター	地域包括支援センターの案内 アハ体験	120人程度
中央区敬老会	令和7年　9月15日	サンライフ甲西		120程度
人権まつり	令和7年11月　9日	柑子袋まちづくりセンター	モーションAI測定会	20人程度

【出前講座（日枝地域包括支援センター実施分）】

	日時	場所	講義内容	参加者数
出張相談「きっかけ」	令和7年　4月21日	下田まちづくりセンター	地域包括支援センター案内・体組成計・運動習慣	9人
	令和7年　5月19日		受診相談	1人
	令和7年　6月16日		健口体操・ﾊﾟﾀｶﾗ測定・体組成計・100日チャレンジ	5人
	令和7年　7月28日		生活困窮	1人
	令和7年10月20日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	3人
	令和7年11月17日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	3人
	令和7年12月15日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	2人
	令和8年　2月16日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	2人
出張相談「きっかけ」	令和7年　5月16日	サンヒルズ甲西	地域包括支援センター案内・体組成計・運動習慣	10人
	令和7年　6月20日		健口体操・ﾊﾟﾀｶﾗ測定・体組成計・100日チャレンジ	10人
	令和7年　7月25日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	3人
	令和7年　9月19日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	5人
	令和7年11月21日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	3人
	令和8年　1月16日		体組成計・運動習慣・地域包括支援センター案内	5人
水戸まちづくり協議会	令和7年　4月18日	サンヒルズ甲西	介護保険・地域包括支援センター案内・ フレイルと予防・体操	46人
下田まちづくり協議会	令和7年11月　1日	下田まちづくりセンター	介護相談・地域包括支援センター案内・体組成計	50人
下田東100歳体操	令和7年12月11日	日の出ハウス	地域包括支援センター案内・体組成計・運動習慣	10人

【出前講座（甲西北地域包括支援センター実施分）】

	日時	場所	講義内容	参加者数
菩提寺学区民生児童委員	令和8年1月28日	菩提寺まちづくりセンター	地域包括支援センターと民生委員との連携	15人
岩根学区民生児童委員	令和8年1月27日	岩根まちづくりセンター		11人
菩提寺駐在所	令和8年2月14日	菩提寺小学校	認知症予防（脳体力測定）	15人
サイドタウン自治会	令和8年2月20日	サイドタウン自治会館	認知症について	50人
菩提寺北小学校（4年生）	令和7年6月　4日	菩提寺北小学校	歳をとるということは	48人
菩提寺小学校（6年生）	令和7年12月18日	菩提寺小学校	高齢者福祉の仕事	74人
菩提寺北小学校	令和7年　6月17日	ピスガこうせい	高齢者との交流会	24人
	令和7年　6月19日	ピスガこうせい	高齢者との交流会	24人
サイドタウン100歳体操	令和7年　9月24日	サイドタウン自治会館	地域包括支援センター案内	8人
岩根花園100歳体操	令和7年　7月29日	岩根花園自治会館	地域包括支援センター案内	12人
菩提寺区長ミーティング	令和7年　7月24日	サイドタウン自治会館	地域包括支援センター案内 高齢者の見守りについて	8人

	日時	場所	講義内容	参加者数
北山台フレイル予防教室	令和7年　5月12日	北山台自治会館	体組成計・健康相談	12人
	令和7年　6月　2日			13人
	令和7年　9月22日			8人
	令和7年10月　6日			13人
	令和7年11月10日			10人
	令和7年12月　1日			12人
	令和8年　1月　5日			13人
	令和8年　2月　2日			14人
	令和8年　3月　2日			15人
サイドタウン フレイル予防教室	令和7年11月17日	サイドタウン自治会館	体組成計・健康相談	4人
	令和7年12月15日			9人
	令和8年　1月19日			14人
	令和8年　2月16日			14人
	令和8年　3月16日			8人

９．地域ケア会議　★別紙資料参照

	甲西 地域包括支援センター	甲西北 地域包括支援センター	日枝 地域包括支援センター	石部 地域包括支援センター
開催日程・場所	令和8年2月19日（木） サンライフ甲西	令和7年10月16日（木） 菩提寺まちづくりセンター	令和7年12月18日（木） 水戸コミュニティセンター	令和7年11月13日（木） 石部老人福祉センター
参加者について	参加人数：72人 介護保険サービズ事業所ケアマネジャー、社協、薬局、区長、民生委員、まち協（ささえあい推進員）、ボランティアスタッフ、サービス付高齢者住宅、銀行、郵便局、交番、包括、市	参加人数：68人 認知症サポート医、認知症相談医、薬局、社協、まち協（ささえあい推進員）、高齢者見守りボランティア、小学校、駐在所、郵便局、企業、民生委員、区自治会、介護保険サービス事業所、保健所、ケアマネジャー、包括、市	参加人数：59人 まち協（ささえあい推進員）、ボランティアグループ、民生委員、区長、介護保険サービス事業所、ケアマネジャー、ケアハウス、薬局、コンビニ、社協、包括、市	参加人数：53人 介護保険サービス事業所、ケアマネジャー、社協、薬局、民生委員、まち協（ささえあい推進員）、診療所、交番、商店、市議会議員、包括、市
会議内容	①テーマ 「新しく創設が必要な仕組み・資源」 アンケートから課題を抽出 認知症・移動支援・集いの場の3つの取組みを報告 ②「今ある資源の活用」「発掘が必要な資源」「作り出す必要な資源の活用」についてグループワーク	①認知症のある高齢者の散歩に対してのチーム作りと課題の報告 ②「不安な様子の高齢者を見かけたら、どのような接しますか」をテーマにグループワーク	①移動や社会資源をテーマに今ある資源を報告 ②事例をもとに、新たに地域にあったらいいなと思う資源や仕組みについてのヒントやアイデアをグループワーク	①地域課題について報告 ・認知症への理解 ・介護者・当事者が集える場の継続 ②事例をもとに、地域で生活を続けていくにはどのようなサポートがあれば良いかグループワーク

	甲西 地域包括支援センター	甲西北 地域包括支援センター	日枝 地域包括支援センター	石部 地域包括支援センター
地域課題 R7年度 地域ケア会議 より	ボランティアタクシーなどの移動支援活動が学区全体に広がっておらず、移動手段に困っている地域がある。簡単なお手伝いサービスの仕組みづくりができておらず、困っている方が多くいる。自治会加入者が減ってきており、防災上の安否確認が難しい方が増えている。	**心理的ハードルの解消** 「声をかけづらい」「声をかけた後が不安」という意見に対し、住民が一人で抱え込まずに済む、より簡易的な「初期連絡システム」の周知が必要 **困っているかどうかの判断の共有** 認知症の症状は多様であるため、地域住民が異変に気づくための「具体的な気づきのポイント」を啓発。 **チームの持続可能性** 特定のボランティアや家族に負担が偏らないように、多様な主体（商店、近隣住民等）を巻き込んだ、より緩やかで細かいネットワークの拡大。チームオレンジの活用。	免許返納後の移動手段の不足 身寄りのない独居高齢者の増加 地域で活動するボランティアの後継問題 集合住宅2階以上に居住の高齢者住み替え困難 外国籍の高齢者と地域の関わりの希薄さ 介護保険サービス事業者の不足	気になる人に対し、関わりのある人が声をかけていく勇気が必要。学区の住民が勇気を出して高齢者に限らず「声掛けをし見守っていこう！」のマインドを地域住民と共有できるように。住民理解の底上げ、認知症をいかに生涯教育として啓発していけるようになるかがこれからの課題。家族が認知症になったら周囲に協力を得られるような地域を目指す。
R8年度 重点目標	・地域サロン、百歳体操、老人クラブへ参加し、認知症啓発、フレイル予防啓発を行っていく。 ・三雲まちづくり協議会、自治会と連携を図り、それぞれの地域課題に対応した取り組みを検討し進めていけるようにする。 ・民生委員や地域の支援者とのネットワークの構築。	・甲西北地域包括支援センターの周知の継続。 ・次世代を含めた認知症の啓発。 ・地域で高齢者の見守りが継続できるよう、支援者同士が繋がりを持つ場、可能な範囲で情報を共有する場を増やしていく。	・日枝地域包括支援センターの一層の周知を図り、より相談しやすいセンターを目指す。 ・高齢者の総合相談窓口としての機能を着実に果たすため、受けた相談に対してすべて状況把握、緊急性の判断を行い対応する。 ・健康維持とともに体力や筋力が維持でき、自立した生活を継続するための取組みを行う。	・石部地域包括支援センターの周知について継続啓発。 ・認知症支援体制基盤づくり。 （市民・お店等への啓発含む。） ・地域での居場所づくり。

10. その他（家族介護支援事業など）

【家族介護支援事業（介護者のつどい）】

日頃、高齢者の介護をしている方を対象に、リフレッシュしていただく場として各包括ごとに開催しました。集まった方々と情報交換を行い、日頃の悩みや思いを共有しながら、精神的負担の軽減や介護の工夫などを知っていただくことができました。

	日時	内容	参加者数
甲西	令和7年10月28日	フラワーアレンジメントで心をほぐす	7人
石部	令和8年　2月20日	セルフケアのヒントを学ぶ　ハンドマッサージ体験会	13人
甲西北	令和7年12月11日	フラワーアレンジメントで心をほぐす	9人
日枝	令和7月10月29日	癒しのヨガとティータイム	4人

【地域の会議等への出席】

民生委員
学区会議

地域サロンの
打ち合わせ

ボランティア
会議

まちづくり協
議会

百歳体操代
表者会議